

■市民対象意見交換会の主な意見及び市の考え方について(1)

平成 30 年 7 月 5 日 (木)

主な意見	市の考え	修正 有無	修正 箇所	修正内容
1.ちがさき都市マスタープラン改定骨子案は、市民の意見が反映されているとは思えない。	→平成 20 年に改定した都市マスタープランは市民会議の提案を受け、策定している。今回の改定は、平成 20 年の計画を踏襲した形で素案を策定しており、今回意見交換会を実施している。地域、市民意見交換会でいただいた意見については、今後策定委員会へ諮りながら、修正の方向性を検討する。	無	—	—
2.都市防災の方針が記載されている中で、エネルギーの安定供給の視点も記載できると良いのではないか。	→被災後の復興、復興事前準備の視点で、重要な事項であると考え。今後、具体的な内容については検討していきたい。	無	—	—

■市民対象意見交換会の主な意見及び市の考え方について（２）

平成 30 年 7 月 7 日（土）

主な意見	市の考え	修正有無	修正箇所	修正内容
1.北西部地域の萩園は、企業誘致等の開発や整備が進んでいるが、茅ヶ崎市の文化振興に寄与するようなものづくりや IT 企業等を誘致した方が茅ヶ崎の将来につながると考える。	→萩園は土地区画整理事業で、産業系あるいは工業系の企業誘致を進めている。茅ヶ崎市の文化振興に寄与するような企業誘致が今からでも可能なのかは担当課に確認する。	無	—	—
2.20 年後を見据えた計画だが、実際はさらに長い年月で計画を考える必要がある。多くの子育て世代が流入し、若者が出て行かないまちを目指すために、文化や教育等に力点を置く事が重要だと考える。	→茅ヶ崎市の人口も 2 年後には減少に転じると推計されている。今回の改定は、社会情勢の変化等による対応だけでなく、茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）を盛り込む事で、都市間競争に勝ち、若者が流出しないまちを目指したい。	無	—	—
3.都市計画道路（南湖深田線）を整備する予定になっている。茅ヶ崎市の人口は減少し、車の減少も見込まれるため、新しい道路を増やすよりも、既存道路の改良及びバリアフリー化等を優先的に進めてもらいたい。	→既存道路の工事及びバリアフリー化等も優先的に進めた方が良いという議論もあり、次回の都市計画道路の見直しでは、社会情勢の変化等も考慮して、道路の必要性を再検討する。	無	—	—
4.現在エメロードでは商店の建て替えや駐車場化が進んでおり、市が商業機能を駅前集約したいと考えているならば、今から計画を進めなければ難しいと思う。	→本市には建築を共同化する制度等はあるが、制度の認知が低い状況である。土地活用については、地域や商店街の意見を聞きつつ、検討していきたい。	無	—	—

<p>5.茅ヶ崎市も市街化区域や駅周辺に人口を集中させて、コンパクトシティ化を図るべきなのか。</p>	<p>→本市は既にコンパクトシティだと認識している。しかし、高齢社会を見据えて、都市拠点や生活に必要な施設等にアクセスできる交通手段は充実させる必要があり、都市拠点の機能を強化するとともに、都市拠点をつなぐ交通網を強化する。</p>	<p>無</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>6.建物を塗り替える場合の色を指定する等、景観を綺麗に見せる手法を検討してもらいたい。</p>	<p>→特別景観まちづくり地区に指定し、建物の色調や看板等の指導を随時行っている地区計画等でも景観要素や建築制限は指定できるため、この制度を地域で活用してもらいたい。</p>	<p>無</p>	<p>—</p>	<p>—</p>